※令和４年度以前入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　家庭科

科目	**保育基礎**	単位数	4
使用教科書	保育基礎　ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ　（教育図書）		
副教材等	なし		

	前期	後期
単位	2	2
レポート	6	6
必要出席回数	4	4
テスト	○	○

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの育ちについて学び、どうしたらいきいきと成長していくことができるのかを考えます。
・レポートは教科書を活用して取り組み、提出期日までに提出しましょう。
・スクーリングでは、レポートの内容をより深く理解できるよう講義を行います。
・テストはレポートの問題から出題されます。
・スクーリングと併せてＮＨＫ高校講座などメディアを視聴学習し、より理解を深めましょう。

2　学習の到達目標

●子どもの発達の特性や発達過程、生活の特徴、保育についての知識と技術を身に着けようとしている。
●子どもを取り巻く課題を見つけ、保育を担う職業人の視点から適切な判断や工夫、表現する力を身に着けようとしている。
●保育にかかわる職業について関心を持ち、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を身に着けようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・子どもの発達や生活の特徴、保育、福祉や文化などについての知識を体系的・系統的に身に着けている。 ・子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけている。	・子どもを取り巻く課題を見つけ、保育を担う職業人の視点から合理的かつ創造的に解決するために、思考を深め、適切な判断や工夫、表現をする力を身につけている。	・子どもの発達や保育にかかわる職業について関心を持ち、地域の保育や子育て支援を通じて子どもの健やかな発達に寄与しようとする態度を身に着けている。

●学習指導要領(第１章第７款の４)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用することもある。
●学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以前入学生用

４　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	子どもの発達	2章　子どもの発達 1. 子どもの発達と特性 2. 乳幼児の発育と発達	a:乳幼児の発達の共通性や個別性、この発達が身体の発育と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていくことを理解できる。情緒や社会性と言った心の発達に関して、親や保育者との愛着形成が重要であることを理解できる。 b:子どもの人格形成における重要性を理解し、個人差を考慮した適切な人とのかかわりがいかに大切かを理解できる。 c: 保育の意義について自身が親や保育者になることを視野に入れ、子どもの成長が身体の発育と心や身体の機能の発達が相互に関連していることを理解し、実践する態度を身に着けようとしている。	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査
	子どもの保育	1章　子どもの保育 1. 保育の意義 2. 保育の環境 3. 保育の方法	a:子どもの人格形成における保育の重要性を理解し、保護者や保育者の役割を理解しようとしている。家庭保育と集団保育の役割を理解することができる。 b:子どもの保育の特徴や保育者に求められる姿勢などについて考えることができる。現在の子育て家庭が集団保育衣求めていることについて、子育ての環境の変化などと関連させながら具体的に考え、まとめることができる。 c:保育の意義について、自分自身が親や保育者となることを考えるなど、自分の人生観と結び付けて考えようとする姿勢がみられる。身近な保育・教育施設などに興味関心をもち、特色などを自分で調べてまとめることができる。			

※令和４年度以前入学生用

後期	子どもの生活	3章　子どもの生活 1. 子どもの健康と生活 2. 子どもの食事 3. 子どもの衣服と寝具 4. 子どもの健康と安全	a:子どもの養護の必要性について理解し、その発達段階に応じた養護や生活援助のための保育者の養護なしでは生きていけないということを理解し，保育者としての責任を自覚しながら学習することができる。子どもの日常生活における世話の仕方とその役割を理解することができる。 b:子どもの衣食住について、それぞれの時期についての特徴を理解し、健康や生活習慣についての課題を見つけ、自分の考えをまとめることができる。 c:子どもが生活する上でどのようなことが想定できるか考え、実践的に取り組もうとする態度を身に着ける姿がみられる。	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査
	子どもの福祉、文化	4 章　子どもの福祉 1. 保育に見る児童観 2. 児童福祉の理念と法規・ 制度 5 章　子どもの文化 1. 子どもの文化の意義 2. 子どもの文化を支える場 3. 子どもと遊び 4. 子どもの表現活動	a:児童福祉の理念と特徴、法律や制度、福祉に係る施設の役割について理解し、課題や問題意識をもって学習を深めることができる。 子どもの文化やそれを支える場の役割や意義、子どもの健やかな発達が遊びによってもたらされていることが理解できる。 b:児童虐待や貧困などの問題を通じて、子どもの福祉の必要性を理解し、自分の考えをまとめることができる。 子どもの文化や子ども取り巻く環境について、現状どのようであるかを理解し、今後の課題について考察することができる。 c:自分自身が保育者になることを想像しながら、子どもを取り巻く環境や子育て支援について関心をもち、調べてまとめることができる。 保育施設で行われている遊びなどの活動に関心をもち、自分で情報を収集することができる。	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査

※　表中の観点について　　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度